

腎臓グループ

所属メンバー

- ・佐々木 聡 (講師、昭和 61 年卒)
- ・伊東 広臨 (大学院生、平成 12 年卒) (～平成 23 年 3 月)
- ・岡本 孝之 (大学院生、平成 15 年卒)
- ・佐藤 泰征 (大学院生、平成 16 年卒)

外来患者数 872 人/年

入院患者数 45 人/年

特色ある診療内容

関連病院腎臓外来 道内主要関連病院

腎生検診断 49 例/年

腎不全(保存期及び透析患者)・腎移植関連患者 20 例/年

研究内容

<臨床>

- ・全国多施設研究による小児難治性腎疾患 (ネフローゼ症候群、IgA 腎症、ループス腎炎) の治療法開発
- ・小児保存期腎不全管理と腎移植治療

<基礎>

- ・ネフローゼ症候群・糸球体硬化の進展機序解明と治療法開発に関する基礎的研究
- ・シクロスポリン腎症における尿細管間質障害発症・進展機序解明に関する基礎的研究

発表論文 (原著、症例報告、総説)

1. Shima Y, Nakanishi K, Kamei K, Togawa H, Nozu K, Tanaka R, Sasaki S, Iijima K and Yoshikawa N: Disappearance of glomerular IgA deposits in childhood IgA nephropathy showing diffuse mesangial proliferation after 2 years of combination/prednisolone therapy. Nephrol Dial Transplant 26: 163-169, 2011

2. Sekine T, Konno M, Sasaki S, Moritani S, Miura T, Wong WS, Nishio H, Nishiguchi T, Ohuchi MY, Tsuchiya S, Matsuyama T, Kanegane H, Ida K, Miura K, Harita Y, Hattori M, Horita S, Igarashi T, Saito H and Kunishima S: Patients with Epstein-Fechtner syndromes owing to MYH9 R702 mutations develop progressive proteinuric renal disease. *Kidney Int* 78: 207-214, 2010
3. Ishikura K, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Iijima K, Nakanishi K, Matsuyama T, Yata N, Ando T and Honda M: for Japanese Study Group of Renal Disease in Children. Treatment with microemulsified cyclosporine in children with frequently relapsing nephrotic syndrome. *Nephrol Dial Transplant* 25: 2956-2962, 2010
4. Tanaka Y, Yoshikawa N, Hattori S, Sasaki S, Ando T, Ikeda M and Honda M: Combination therapy with steroids and mizoribine in juvenile SLE: a randomized controlled trial. *Pediatr Nephrol* 25: 877-882, 2010
5. 岡本孝之、佐々木聡、伊東広臨、鈴木秀久、小林徳雄、内藤広行、三浦正義、下田直彦、福澤信之、野々村克也、有賀 正: 入急性膵炎、腎不全を合併し、血漿交換および血液透析を施行した全身性エリテマトーデスの1例. *日本小児腎不全学会雑誌* 30: 189-191, 2010
6. 佐々木聡: [小児の治療指針、腎尿路]、膜性腎症. *小児科診療* 73 巻増刊: 679-681, 2010
7. 佐々木聡: [必携 小児の薬の使い方、疾患に対する薬剤の選び方、使い方と注意、腎泌尿器生殖器疾患]、腎性尿崩症. *小児内科* 42 巻増刊: 635-638, 2010

学会発表（全国学会・地方学会）

1. Ito H, Okamoto T, Sato Y and Sasaki S: Nonhaematopoietic derivatives of erythropoietin ameliorates mouse cyclosporine nephropathy. 47th Annual Meeting of European renal association-European Dialysis and Transplantation Association, Munich, 2010
2. Okamoto T, Sasaki S, Sato Y and Ito H: Significant role of glomerular CD44 expression in adriamycin-associated nephropathy. 43rd Annual Meeting of the American Society of Nephrology, Denver, 2010
3. 岡本孝之、佐々木聡、伊東広臨、佐藤泰征、有賀 正: アドリアマイシン腎症におけるCD44 陽性糸球体上皮細胞の意義. 第53回日本腎臓学会学術集会、神戸、2010
4. 三浦健一郎、関根孝司、堀田 茂、近本裕子、服部元史、國島伸治、栗原秀剛、佐々木聡、五十嵐隆: 免疫組織染色によるMYH9 と蛋白尿発症との関連性についての検討. 第45回日本腎臓学会学術集会、神戸、2010

5. 岡本孝之、佐々木聡、伊東広臨、佐藤泰征、有賀 正：アドリアマイシン腎症におけるCD44陽性糸球体上皮細胞の意義. 第45回日本小児腎臓病学会学術集会、大阪市、2010
6. 三浦健一郎、関根孝司、堀田 茂、近本裕子、服部元史、國島伸治、栗原秀剛、佐々木聡、五十嵐隆：特発性FSGSにおけるポドサイト NMMHC-IIA (MYH9) 発現の解析. 第45回日本小児腎臓病学会学術集会、大阪市、2010
7. 佐藤泰征、佐々木聡、岡本孝之、伊東広臨、鈴木 昭、深澤雄一郎、大坪裕美、橋村裕也、貝藤裕史、飯島一誠、有賀 正：学校検尿により発見されたフィブロネクチン関連腎症の一例. 第32回小児腎不全学会学術集会、札幌市、2010
8. 岡本孝之、佐々木聡、佐藤泰征、伊東広臨、下田直彦、森田 研、野々村克也、杉山未奈子、仲西正憲、永島哲郎、有賀 正：血漿交換を含む積極的治療により改善を認めた非定型溶血性尿毒症症候群の1例. 第32回小児腎不全学会学術集会、札幌市、2010
9. 杉山未奈子、高田 晋、越田慎一、高梨久仁子、野呂 歩、鈴木靖人、仲西正憲、永島哲郎、岡本孝之、伊東広臨、佐々木聡、森田 研：非典型的溶血性尿毒症症候群 (atypical HUS) の一例. 日本小児科学会北海道地方会、札幌市、2010
10. 佐藤泰征、佐々木聡、岡本孝之、伊東広臨、楠 幸博、深澤雄一郎、有賀 正：学校検尿により発見されたフィブロネクチン関連腎症の一例. 第62回北日本小児科学会、札幌市、2010
11. 岡本孝之、佐々木聡、佐藤泰征、伊東広臨、有賀 正：ネフローゼ症候群に伴う急性腎不全 (NSARF) を来した2症例. 第20回北海道小児腎臓病研究会、札幌市、2010
12. 中本 哲、波田野典一、内藤広行、栃丸博幸、佐藤泰征、佐々木聡、岡本孝之、伊東広臨、有賀 正：シクロスポリン治療が奏功したネフローゼ型紫斑病性腎炎の1例. 第20回北海道小児腎臓病研究会、札幌市、2010
13. 佐藤泰征、佐々木聡、岡本孝之、伊東広臨、鈴木 昭、深澤雄一郎、大坪裕美、橋村裕也、貝藤裕史、飯島一誠、有賀 正：学校検尿により発見されたフィブロネクチン関連腎症の一例. 第63回北海道臨床腎臓研究会、札幌市、2010

講演・シンポジウムなど

1. 佐々木聡：[ランチョンセミナー] 小児難治性ネフローゼ症候群-成人期にわたる長期治療戦略. 第45回日本小児腎臓病学会、大阪市、2010
2. 佐々木聡：[教育講演] 小児CKDに関与する諸因子の見直しと道内における小児腎不全治療管理の現状. 第32回小児腎不全学会学術集会、札幌市、2010
3. 佐々木聡：[講演] 特発性ネフローゼ症候群治療の現況と今後の方向性. 北海道小児オータムセミナー、札幌市、2010
4. 佐々木聡：[講演] 小児IgA腎症の臨床病理学的特徴. 第6回腎病理カンファレンス、札幌市、2010

学会活動（委員会委員など）

日本小児腎臓病学会評議員・総務委員、統計調査委員会末期腎不全調査委員(佐々木聡)

小児難治性腎疾患治療研究会北海道地区世話人(佐々木聡)

小児 IgA 腎症研究会幹事（監事）

北海道小児腎臓病研究会会長（佐々木聡）

北海道臨床腎臓研究会幹事（佐々木聡）

北海道腎フォーラム幹事（佐々木聡）